

広報

しんじょう

9
2007

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.597



新庄まつり・本まつり山車運行 (8月25日/最上公園)

故高橋市長をしのいで.....2

協働モデル事業始動.....4

住み慣れたわが家で.....6

コミュニティ助成事業を実施.....8

いきいき新庄人/エコ通信.....9

しんじょう見聞録.....10

9月のお知らせ.....12

大人がはぐくむ子どもの心.....14

平和都市宣言旗 [生命樹]



新庄市平和都市宣言を象徴する旗。青空に力強く伸びる大樹と生きることの尊さを表現。昭和59年5月26日から市庁舎前に掲揚している。

新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>
E-mail info@city.shinjo.yamagata.jp



新庄市 最上広域市町村圏事務組合 高橋家合同葬儀告別式 (H19.9.5)



新庄市長 故高橋榮一郎氏を しのんで

高橋市長略歴

昭和11年6月	旧新庄町(現新庄市)に生まれる
昭和34年3月	慶應義塾大学法学部政治学科卒業
昭和34年4月	株式会社日本ビール(現サッポロビール)入社
昭和36年1月	讀賣巨人軍入団
昭和38年1月	南海ホークス(現福岡ソフトバンクホークス)入団
平成元年12月	新庄市長(5期18年)

新庄市長・高橋榮一郎氏(七十一歳)が、八月九日(木)午前一時三十分、永眠されました。

高橋市長は、平成元年十二月三日就任後、五期十八年にわたり市政運営にご尽力なされました。

「ねばり」と「積極性」を信条に新庄市発展のために全力投球してきた高橋市長は、市の将来像を「雪に強い快適な生活環境の中で、豊かな自然を感じ、より質の高い都市生活の便益を十分に享受できる都市・田園都市」と掲げ、施策を推進してきました。どのような時代環境の変化にもしなやかに対応できる「たくましい故郷」をつくり、すべての市民が生涯安心して暮らすために全精力を傾けてきました。

平成元年の市長就任のあいさつでは、「みなさまとの『対話』を基調とした、明るく豊かなまちづくり」に全力を尽くす決意です。山積みする

課題に真正面から取り組み、若者が故郷をもう一度見直すような魅力ある新庄市を常に考え、「二十一世紀への路」を切り拓いていきます。また、先人が築きあげてきた実績を、「いいひと・いいまち・いいくらし」を基本理念に、時代のニーズに合わせながら、さらに前進・発展させるよう最大限の力を傾注するつもりです」と抱負を述べています。

主な功績は、山形新幹線新庄延伸、雪対策強化など都市基盤の整備、保健・医療・福祉の充実、産業経済や教育文化の振興、環境保全対策の構築など、市政全般にわたります。時代的確にとらえ、地域全体の生活環境改善のため、社会資本の整備に積極的に取り組んできました。

温かな郷土愛とスポーツマンらしい行動力・決断力を持ち、多くの人たちから親しまれた高橋市長のご冥福をお祈り申し上げます。

市の歩み

(平成元年12月～19年8月)

- 2年5月 国営新庄農業水利事業通水
- 4年9月 国道47号亀割バイパス開通
- 10月 べにばな国体開催
- 5年8月 市民球場
- 6年11月 「あじさいスタジアム」完成
駅前ふれあい広場
- 9年11月 雪の里情報館開館
- 10年7月 わくわく新庄開館
- 11年4月 市制施行50周年
- 12月 山形新幹線新庄延伸開通
- 12月 新庄市体験農園開園
- 12月 新庄市民スキー場オープン
- 13年10月 まなびピア山形2001開催
- 14年5月 新庄南バイパス全線開通
- 6月 天皇皇后両陛下ご来新
- 6月 やまがた花咲かフェア開催
- 9月 エコロジーガーデン(原蚕の杜)産直まゆの郷開園
- 15年8月 国内初E3燃料公用車の公道実用走行開始
- 10月 国民文化祭開催
- 16年2月 秋篠宮ご夫妻ご来新
- 17年4月 山形大学「エリアキャンパスもがみ」発足
- 8月 新庄まつり250年祭開催
- 18年3月 構造改革特区認定
- 19年3月 夜間休日診療所開所
- 4月 市営バス運行開始

ありし日の高橋市長



山形新幹線「つばさ」新庄開業出発式 (H11.12.4)



市長初登庁 (H元.12.3)



さくらんぼナイター(阪神-巨人戦)での始球式 (H4.6.19)



天皇、皇后両陛下ご来新(全国植樹祭) (H14.6.3)



べにばな国体大会旗・炬火ルー出発式 (H4.9.30)



市民球場(あじさいスタジアム)完成 (H5.8.20)



構造改革特別区認定書授与式 (H18.4.18.)



新庄剛志元プロ野球選手との初春トーク (H7.1.7)



大銀座まつりで新庄まつりをビール (H9.10.17)



新庄まつり250年祭 (H17.8.25)



秋篠宮ご夫妻ご来新(山形もがみ国体) (H16.2.20)



かもしかクラブで交通安全指導 (H15.1.19)



山形大学エリアキャンパスもがみ連携協定調印式 (H17.3.22)



夜間休日診療所開所式 (H19.3.26)

市長語録

- ・自分の身の丈にあった生活をする
- ・パツと見て人の好き嫌いを判断するな。人には必ずいいところがある。その人のいいところを見るようにすること。評価は「加点方式」で
- ・人の話しをよく聞くこと。また、話そうとする言葉は口にする前にもう一度良く考えること
- ・わたしは、本当に周りの人に助けられて今までやってこれた
- ・声なきものに耳をかたむけろ
- ・議論は大いにすること。そして、いったん決めたことには、一致団結して取り組むこと
- ・仕事には早く慣れなさい。でも慣れすぎるとはいけな
- ・信条は「ねばり」と「積極性」
- ・市民とともに、住みよきランキングで東北四位、県内二位の評価を得るまちを創りあげてきた。「いいと、いいまち、いい暮らし」の実現のためには必要な投資は惜しまないが、市の財政の健全化が、今の俺の最大の使命だ

企画から一緒に取り組みます！

平成十九年度協働モデル事業始動

協働モデル事業とは、市民と行政が地域の課題を共有し、協力してその課題を解決するために、市民団体の育成と協働の輪を広げる体制づくりを目的としています。七月三十一日、七つの「協働事業テーマ」に対し応募のあった五事業について、選考会を行いましたので紹介します。

モデル事業選考会実施

昨年度実施した「市民提案型協働パイロット事業」では、市の振興計画の六十一施策を推進する事業を募集しました。

今年度はその施策の中でも重点施策を中心に、協働することにより効果が得られる事業を市内部で検討し、七つの協働事業テーマに絞って企画を募集しました。

選考会では応募のあった五事業について、各団体からの提案説明と担当課からの意見を発表し、新庄市協働評価委員が七つの評価項目で採点、四事業を採択しました。

協働は企画段階からの話し合いがポイント

採択された事業は、はじめに市民団体と担当課が事業企画について話し合います。

事業の目的・目標を互いに確認し、担当課は協働の相手がどのような組織なのか、人材・財産・経験・

協働事業テーマ

1. 子育て支援センターと連携した子育て支援の充実
2. 家庭教育と地域の連携強化
3. 地域の観光情報の収集・発信
4. 食育の推進
5. エコロジーガーデンの活用と交流の促進
6. 学習につまずきのある児童生徒の支援
7. 国際理解教育・外国語教育の推進

の立場を尊重しながら協力しあうのが「協働」です。

事業終了後には、事業の成果と協働への取り組み状況を評価し合い、二月には事業発表会を行う予定です。また事業終了後も団体との協働を継続できるように市として取り組んでいきます。

協働推進に向けた市の取り組み

今年度は、協働モデル事業の推進のほか、協働推進計画(平成二十一年度)の策定、「市民と職員」の協働ルールブックの作成を行います。

「新庄市協働評価委員会」の活動

市民と行政が相互の特性を生かした適切な役割分担により、協働事業が実施されているかを評価します。

【会長】

● 沼野慈さん NPO法人山形創造NPO支援ネットワーク代表理事

【委員】

● 光山昌浩さん バイオソリッドエナジー株式会社主任研究員

● 佐々木代子さん (前)行政改革市民委員会委員

● 福田真さん NPO・AMP副長

(任期 平成十九年七月二日) 二十一年三月三十一日

▲協働モデル事業選考会



協働モデル事業選考結果

評価項目

1. 協働事業のテーマを推進するか
2. 事業の実現性が高いか
3. 補助終了後も協働が可能か
4. 団体のステップアップにつながるか
5. 高い費用対効果が見込めるか
6. 協働による相乗効果が見込めるか
7. 団体・行政の協働体制を確立できるか



▲評価委員による事業選考

テーマ	団体【事業名】	評価点	評価のポイント
5	NPO法人芸術文化振興市民ネット新庄【人間と自然との共生体感コンサート】	87点 採択	計画内容や経費の積算など事業の実現性が高く、施設の利用拡大・観光資源としての広がり期待できる。
1	託児ネットワークきらきら【共育についての講演並びに遊び「わらべうた」の実践】	78点 採択	市民ニーズがあり、事業の実現性が高く、効果も期待できる。講演会だけに終わらず、支援センターとの連携を継続してほしい。
7	国際交流ボランティアグループすまいる【ひと・発見!地域・発見!世界・発見!ネットワークづくりプロジェクト】	73点 採択	外国の文化に触れる機会は行政だけではなかなかできないため有意義な事業。学校現場での人材活用をうまくコーディネートしてほしい。
3	NPO新庄観光ガイド協議会【新庄の四季と伝承行事】	72点 採択	現状や課題に対しての団体の情熱が伝わる内容であった。活動の中で身近な風景を撮影し、新庄の魅力を発信してほしい。
7	国際交流支援会【国際交流支援事業】	57点 不採択	多くの外国人会員がいることは大変魅力であるが、事業内容がもう少し具体的であるとよかった。

※評価点…評価委員4名が評価項目ごとに1～4点で評価し、合計点数を100点満点に換算しました。

採択された事業の提案内容

テーマ 5. エコロジーガーデンの活用と交流の促進 団体名 NPO法人芸術文化振興市民ネット新庄 事業名 人間と自然との共生体感コンサート 担当課 農林課・商工観光課 【内容】 エコロジーガーデンの自然を感じられるようなコンサートとお茶を楽しむ「エコロジーガーデンコンサート～みどりやすらぎの調べ～(9月22日(土)午後2時30分開演/エコロジーガーデン)」の開催。エコロジーガーデンの自然いっぱいの空間を使い、自然を感じられるアーティストを招き、その音楽にあった国のお茶を提供する。参加者には日ごろの疲れをいやし芸術を身近に感じてもらえる機会を提供したい。 【補助予定金額 60,000円】	テーマ 1. 子育て支援センターと連携した子育て支援の充実 団体名 託児ネットワークきらきら 事業名 共育についての講演ならびに遊び「わらべうた」の実践 担当課 福祉事務所 【内容】 「共育(ともいっく)」についての講演と子どもとの遊びの実践。 と き 12月16日(日)午前10時～午後3時 と ころ 市民プラザ小ホール 内 容 親も子どもも共に成長することを自覚し、わらべうたを通して子どもとの接し方を実践する。 講 師 特定営利法人やまがた育児サークルランド 渡辺裕子さん 【補助予定金額 50,000円】
テーマ 7. 国際理解教育・外国語教育の推進 団体名 国際交流ボランティアグループ「すまいる」 事業名 ひと・発見!地域・発見!世界・発見!ネットワークづくりプロジェクト 担当課 学校教育課・生涯学習課 【内容】 地域在住の外国人の出身国と得意分野などを「すまいる」の活動協力者として「人材バンク」にとりまとめ、「すまいる」企画の交流活動やその他、得意分野を生かした地域活動への協力を呼びかける。また、在住する外国人を広く地域に紹介するため、月ごとにその人と国の料理などを掲載した「2008年版カレンダー」を製作し、地域の人たちに国際理解を深めてもらう。 【補助予定金額 95,000円】	テーマ 3. 地域の観光情報の収集・発信 団体名 NPO新庄観光ガイド協議会 事業名 新庄の四季と伝承行事 担当課 商工観光課 【内容】 市内の風景や伝承行事、観光名所など新庄の四季を写真により発信していく。編集と発信方法は、市商工観光課と協議しながら、市のホームページに掲載していく。市のピーアールのために市民の方々との交流の中から知り得た情報、新庄の新たな一面、観光になる場所などを発掘していきたい。 【補助予定金額 70,000円】

家の中から
三歩
外に出よう!

住み慣れたわが家で、 いつまでも元気に暮らすため。

通所介護予防事業

■とき／9月～11月の毎週土曜日(3カ月間)
■ところ／新庄徳洲会病院「リハビリセンター」



新庄市の九月一日現在の人口は四〇、一二四人。六十五歳以上の高齢者は九、九八九人。四人に一人が高齢者という状況になっています。
平成二十二年度にみんなで老後を支えあう「介護保険法」がスタート。
七年目となる十八年度から介護保険法は「予防」を重視した内容に改正され、さまざまな取り組みを行っています。

運動訓練事業 元気なときに積極的な参加を

いつまでも元気でいるために、市では「運動訓練事業」を行っています。運動訓練事業は、新庄徳洲会病院で作業療法士などにより、三カ月間(十二回)、自分に合った運動を学びます。

対象者は、健康診断を受けた六十五歳以上の方で「立ち上がりがない」などの運動問診項目に該当した方です。今年度は九月一日から実施し、十四名の方が参加しています。

昨年度の参加者からは「立ち上りが楽になった」などの効果が報告されています。

いきいき健康アップ事業 健康増進とともに仲間づくり



六十五歳以上の方を対象に、昨年度から事業がスタートしました。
萩野地区公民館と老人福祉センターを会場に、語らいの場、健康体操、趣味活動やレクリエーション、日帰り温泉旅行等を実施し、利用者の健康増進と仲間づくりを目的として開催しています。今年度は、わくわく新庄でも実施しています。

市福祉バスで利用者を送迎しており、希望者には昼食を準備しています。

地域ふれあいサロン事業 近くの公民館へ積極的な参加を

同じく昨年度からスタートしたこの事業は、地域における高齢者の自主的な介護予防を図る活動の育成と支援を目的として、社会福祉協議会の職員が各公民館を訪問し、組織育成のための指導や講師派遣などの支援を行っています。

高齢者虐待 相・談・窓・口

介護疲れやストレス、人間関係、経済苦などさまざまな原因により高齢者への虐待が起ることがあります。

高齢者への虐待を防ぐには、地域で支え合い見守る姿勢が大切です。虐待を疑われるような場合は、どなたでも構いませんから次のいずれかに相談してください。

新庄市福祉事務所 高齢障害支援室

◎相談電話 ☎22-2111

新庄市地域包括支援センター

(新庄税務署隣り)

- 相談時間 午前8時30分～
午後5時15分(平日のみ)
- 対応 保健師、社会福祉士、介護支援専門員がチームで対応します
- ◎相談電話 ☎28-0330



昨年度は、老人福祉センター、赤坂公民館、升形公民館、八向地区公民館の四カ所で開催を通して実施し、趣味活動、体操・口腔ケアなどの介護予防教室を行いました。昨年度実施した地域では今年度も継続して活動しています。

今後、活動したい地域がありましたら、社会福祉協議会に連絡をお願いします。

◎詳しくは、新庄市社会福祉協議会へ。
☎22-5797

敬老会事業 開催費用を助成します

地域で主催する敬老会費用の一部を助成しています。

昨年度は、十二の地区において開催され、七二五名の参加がありました。昼食をばさんで、各地区で企画した催し物や子どもたちの世代間交流などが実施されました。

▼補助対象経費／弁当代等(七十歳以上対象者)・余興への謝礼・敬老会会場使用料



自殺予防対策 相談ダイヤル

あなたの気持ち話してください。
心のサインに気づいてください。
本音の扉をノックしませんか。

県精神保健福祉センター

- 相談時間
午前9時～午後4時30分(平日のみ)
- ◎相談電話 ☎023-631-7060

山形いのちの電話

- 相談時間
年中無休(365日)午後1時～10時
- ◎相談電話 ☎023-645-4343

毎月10日(午前8時から24時間)は
無料相談ダイヤル 0120-738-556

新庄市健康課健康推進室

- 相談時間
午前9時～午後4時30分(平日のみ)
- ◎相談電話 ☎22-2111内線514

自分一人で悩まないで。
まずは相談を!

『夜間こころの健康相談』

9月29日開催します

このごろよく眠れない。朝早く目覚めてしまう。こんな症状のあなたの気持ちを聞かせてください。早めに気づいて対処するほど治りやすいのは、心も体も同じです。解決への糸口を見つけてみませんか。

- ▼とき 9月29日(土)午後6時～9時
- ▼ところ ゆめりあ2階会議室
- ▼応対 健康課保健師
- ▼申込方法 前日まで、健康課健康推進室へ申し込んでください。
- ▼時間予約をします。
- ◎詳しくは、健康課健康推進室へ。
☎22-2111内線514

9月10日～16日は自殺予防週間です

全国で自殺による死亡者は平成10年から3万人を超えています(交通事故死亡者の約5倍)。都道府県別の自殺率では、秋田県・岩手県に次いで山形県はワースト3。その中でも、最上地域は県内ワースト1という状況です。平成18年に最上地域での自殺者は40名のうち新庄市では11名となっています。25歳から59歳までの働き盛りの世代が9名となっており、痛ましい限りです。全国的には20～30代の死因のトップは自殺となっています。悩んでいる本人はもちろん、周囲の方も気づいたら早めに専門家に相談してください。

木の温もりを感じてみませんか

◆森づくり・森とのふれあい事業

- 対象 どなたでも(小学生以上)
- とき 10月6日(土)午前9時～午後1時
- ところ

陣峰市民の森

●内容 森づくり体験(遊歩道チップ敷きなど)、木工クラフト、チェーンソー体験、森林トレッキング(栗拾い)など

- 参加費 無料
- 申し込み

9月28日(金)まで電話で

※昼食に、いものこ汁とおにぎりを用意しています。子ども会など団体での参加も大歓迎です。



◆記念植樹

人生の慶事(誕生、入学、卒業、結婚、成人、同窓会など)を祝って、記念植樹をしませんか。植樹場所や樹木などの資材は市で用意します。お気軽にご応募ください。

- とき 11月上旬
- ところ 陣峰市民の森
- 樹種 サクラ
- 植樹数 5口(予定)
- 申し込み 10月15日(月)まで農林課に備え付けの申込書で(応募多数の場合は抽選)
- ◎いずれも詳しくは、農林課農林振興室へ。 ☎内線269

宝くじの助成で整備しました

コミュニティ事業とは、財団法人自治総合センターが宝くじの普及広報事業費を財源に、地域コミュニティ(地域社会)活動に助成を行うものです。19年度は次の団体が事業の助成を受けました。

- 団体 小月野地区自治会
- 助成対象 お祭り備品などの整備(長胴太鼓、締太鼓、法被、格納用物置)
- 助成額 250万円



- 団体 千門町町内会
- 助成対象 お祭り備品などの整備(法被一式、テント、音響設備一式)
- 助成額 250万円

- 団体 沖の町若連
- 助成対象 お祭り備品などの整備(山車台車、法被一式、テント)
- 助成額 220万円



※コミュニティ助成事業を実施したい自治会・町内会などは、市にご相談ください。

◎詳しくは、政策経営課企画政策室へ。

☎内線242

♡みんなでささえよう!

最上地域の医療

かかりつけ医を持ちましょう!!

最上地域では、かかりつけ医の普及が十分でないなど、地域医療におけるさまざまな課題があります。そこで、この地域の医療が今後どうあるべきか皆さんと一緒に考えていくため、地域医療の現状と課題など、今月から4回にわたり取り上げていきたいと思います。

今回は、最上地域における医療の現状を紹介します。

地域医療の現状

昨年、県が示した「本県の医療提供体制の基本方向」および最上総合支庁が取りまとめた「最上地域の医療体制のあり方に関する検討報告書」では、最上地域における医療の現状として次のことをあげています。

①県立新庄病院への患者の集中

最上地域における唯一の基幹病院である県立新庄病院に地域内の患者が集中しているため、新庄病院が本来担うべき手術や入院が必要な患者への高度で専門的な医療の提供が十分にできない状況です。

県立新庄病院の医師一人当たりの外来患者数は、他の地域の基幹病院と比べると多く、県立新庄病院5,587人、県立日本海病院3,801人、県立河北病院4,970人です。

(平成16年度外来患者数調)

②県立新庄病院への救急患者の集中

時間外の救急患者が県立新庄病院に集中しています。時間救急患者数の占める割合は、県立新庄病院61.5%、その他の5病院31.3%、在宅当番医7.1%です。

③公立病院での医師不足

県立病院をはじめ地域内の公立病院では、医師の長時間勤務など厳しい勤務実態により医師の確保が難しくなっています。地域内でも医師確保対策に取り組んでいますが、地域内の公立病院に勤務する医師数は年々減少しています。

ご意見をお寄せください

今回は、かかりつけ医についてご紹介します。この企画特集に関するご意見や地域医療のあり方に関する皆さんのご意見を、電話やEメールなどにより下記までお寄せください。

「本県の医療提供体制の基本方向」「最上地域の医療体制のあり方に関する検討報告書」は、最上総合支庁保健企画課のホームページでもご覧いただけます。

◎詳しくは、最上総合支庁保健企画課へ。 ☎29-1258
Eメール mogamihoken@pref.yamagata.jp



芸術文化を通して 活気あるまちづくり



NPO法人
芸術文化振興市民ネット新庄
松田 博美さん(新松本町)

「難しく考えずに、さまざまな分野の人たちと知り合っただけで楽しみながら活動することで自分なりのまちづくりがみえてくると思います」と活動の魅力について語る松田さんは、『芸術文化振興市民ネット新庄』の事務局長として市民活動に参加しています。

「市民活動に興味を持ったのは、国民文化祭の開催時に市の臨時職員としてさまざまな市民団体と関わり、各団体のいきいきした活動に刺激を受けたことがきっかけです。長年、手話サークルに加入し、手話奉仕員として福祉分野での活動をしてきましたが、今まで知りえなかった芸術文化の分野でも活動してみたいと思い、事務局長を引き受けました。

今までの主な事業は、国立ロシアバレエ団の公演やコ

ンサートの開催、“親子伝統工芸伝承シリーズ”東山焼・ランプシェードの制作や、食育公開講座と男の料理教室などで、地域の食・芸術文化を大切に思い伝えていく事業を展開してきました。

今年は、市協働モデル事業の一環として、“エコロジーガーデンコンサート・みどりとやすらぎの調べ”を開催します。今回は、国際交流活動団体の『国際交流茶館くらぶチャ!Cha!茶!』との共催事業で、エコロジーガーデンの自然いっぱいの空間でおいしいお茶と地場産スイーツを提供します。バイオリンとピアノが奏でる音楽で、日ごろの疲れを癒し音楽をより身近に感じてもらいたいと思います。また、エコロジーガーデン周辺を市民に身近に知ってもらい心癒せる時間を過ごすことで、自然と人間が共生することの大切さを体感してもらいたいです。

これからも芸術文化活動を通し多くの人や団体と関わり、一緒に活気あるまちづくりをすすめていきたいです」と松田さんは、いきいきと話してくれました。

エコロジーガーデンコンサート ～みどりとやすらぎの調べ～

- とき 9月22日(土)午後2時30分開演
- 出演 バイオリニスト 池田敏美
ピアニスト 田中奈織美
- 入場料 1,000円(茶菓代込み)
- ◎詳しくは、農林課へ。 ☎内線266

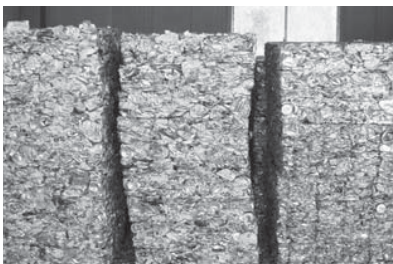


わたしたちが出した空き缶やペットボトルなどの資源ごみと、不燃ごみや粗大ごみは、最上広域市町村圏事務組合で運営する総合資源化施設「リサイクルプラザもがみ」(舟形町富田)に運ばれます。9月号と10月号ではこの施設の役割について紹介します。

総合資源化施設「リサイクルプラザもがみ」

【中間処理施設編】

「リサイクルプラザもがみ」内にある中間処理施設では、運ばれてきた粗大ごみからリサイクルできる資源物を取り出しています。また、缶・ペットボトルなどは材質ごとに分け



▲分別・梱包されたアルミ缶

て、圧縮・梱包して資源化に向けて処理工場に送っています。この施設の働きにより最終処分(埋め立て)するごみや焼却するごみを減らしています。

資源を効率的に“リサイクル”

金属製の粗大ごみなどをさらに効率よくリサイクルするため、市内の資源回収業者による金属製資源物(鍋、フライパン、アルミサッシなど家庭で不要になった金属製品)の無料引き取りをご利用ください。

ごみの減量化・資源化に向けた取り組みを推進し、ごみを減らして地球温暖化を防止しましょう!

市ホームページで楽しく学ぶ“環境学習”

市ホームページに環境に関する情報を掲載しています。わたしたちの生活に身近なテーマで楽しく学んでみませんか。

◆緑のカーテンでエコチャレンジ

つる性植物を利用した“緑のカーテン”で暑い夏を涼しく過ごそう!緑のカーテン日記ほか

<http://www.city.shinjyo.yamagata.jp/1845.html>

◆エコファミリー通信

「外来生物」や「海岸の漂着ごみ」などをテーマに身近な環境問題について学ぼう!

<http://www.city.shinjyo.yamagata.jp/266.html>

平成19年7月のごみ排出量

1人1日あたり**976g**(前年同月比▲16g)

※13カ月連続で、前年同月より減少しています!



◎詳しくは、環境課環境保全室へ。☎内線431

聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲ 久々の友人との再会に盛り上がった成人式(8月14日/市民プラザ)



▲ 平和都市宣言旗掲揚式(8月15日/市役所)



▲ 子ども夏のついで(8月7日/市立図書館)



▲ 遊具寄贈(8月6日/金沢公園)



▲ 夏休み学習資料相談(8月3日~15日/市立図書館)



▲ 清掃ボランティア(8月25日/駅前通り)

真夏に成人の誓い

新成人の新たな出発を祝う成人式を開催しました。今年の参加対象者は市内在住の人と市内の中学校を卒業した新成人580人。式典には417人が参加し、市内の各出身中学校の代表者5人【滝沢聡美さん(新庄)三原友太さん(明倫)舟生武さん(日新)海藤友里さん(萩野)斎藤貴人さん(八向)】がそれぞれの抱負を述べました。

終戦記念日に平和への誓い

世界の恒久平和を願い平和都市宣言旗の掲揚式が行われました。この式典は、平和都市を宣言した昭和59年から毎年終戦記念日に実施しています。平和都市宣言推進会議が主催し17団体の代表が参加。新庄北高生の渡部雄平さん(3年)、吉浦恭介さん(3年)、矢口裕太さん(3年)の3人が、新しい平和都市宣言旗を掲揚して平和への誓いを新たにしました。

市に善意の寄贈

【公園の遊具】子どもたちが伸び伸び元気に遊べるようにと、小松正男さん(若葉町)から金沢公園に犬や象をモチーフにした石像の遊具5体を寄贈していただきました。除幕式では、小松さんから「毎日、公園に来て遊んでください」とあいさつがあり、南部保育所の子どもたちがお礼に太鼓を披露し、元気に遊具で遊びました。

まつりを支える清掃ボランティア

新庄まつりを見物に訪れる人たちに、きれいなまちでまつりを楽しんでもらいたいと、まつり前や期間中、最上公園や駅周辺、中心商店街などで、市内の団体や個人による清掃ボランティアが行われました。伝統ある新庄まつりは、こうした多くの市民に支えられています。



栄光をたたえて

■新庄市小学校陸上競技記録会

男子／100m①川瀬拓(日新)②星川志侑(新庄)③加藤義人(泉田)1000m①笹木浩太郎(泉田)②五十嵐智(日新)③吉田和志(沼田)走り幅跳び①古瀬光明(日新)②佐藤謙友(山屋)③田中拓海(沼田)走り高跳び①今田峻(日新)②伊藤圭(日新)③阿部俊典(新庄)ソフトボール投げ①増川拓巳(昭和)②佐藤蓮(北辰)③齋藤洋輔(新庄)400mリレー①日新②新庄③泉田 女子／100m①渡部愛美(新庄)②小林未侑(沼田)③姉崎史恵(新庄)800m①小野未羽(萩野)②阿部瑠那(沼田)③齋藤春佳(沼田)走り幅跳び①斉藤千紘(日新)②高橋望(沼田)③桐日菜華(日新)走り高跳び①柴田真弓(沼田)②佐藤心(泉田)③齋藤響(日新)ソフトボール投げ①佐藤明日香(山屋)②森遥香(日新)③大沼亜美(昭和)400mリレー①新庄②沼田③日新

■第47回県中学校総合体育大会

【柔道】男子／個人60キログラム①羽賀雄大(新庄)②鈴木浩紀(日新)90キログラム③横山宙紀(明倫)／女子／個人44キログラム③伊藤美由希(日新)52キログラム②阿部千里(新庄)57キログラム③石田尚子(新庄)【バドミントン】男子／個人ダブルス③星川尚之・高橋翔弥(新庄)【陸上】男子／3年100m③鎌田卓(新庄)200m②鎌田卓(新庄)1年1500m③小林駿(明倫)400mリレー④新庄走り高跳び④奥山大二郎(日新)四種競技⑤永井亮太(日新)

■第10回県ジュニアゴルフ大会

中学生の部／男子 優勝 山科和彦(日新)

■愛鳥週間ポスターコンクール

県知事賞菅根奏風(沼田小)奨励賞中鉢明日佳(沼田小)丹紗恵(山屋小)佳作梁瀬広奈(新庄小)芦原美咲(日新小)

■第46回県少年の主張大会最上地区大会

優秀賞長南和希(明倫中)芳賀大介(八向中)

■国土技術開発賞

森環境技術研究所



▲NHKのど自慢で新庄市を大いにアピール(8月19日/市民文化会館)



▲萩野小5年生など31の団体・個人が33作品のかかしを展示した新庄かかし祭り(8月12日/エコロジーガーデン)



▲第1回市民活動フェスタ(7月28日/市民プラザ)



▲歩行者天国の中行われたストリートライブフェスタ(7月28日/南・北本町商店街)



▲第14回最上川こいこい灯籠まつり(8月12日～16日/本合海・芭蕉乗船の地)



▲灯ろう流し(7月28日/升形川)

ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

結核予防週間9月24日～30日

～年間3万人が新たに発症しています～
○65歳以上の人は、年1回の結核健康診断を!!
◎健康課健康推進室 ☎内線513

市営住宅入居者募集

▼対象団地 玉の木団地(2戸) / 10、4000円 / 17、6000円、野原団地(1戸) 23、5000円 / 39、0000円、小松室団地(1戸) 24、9000円 / 41、2000円
▼資格 次のすべてに該当する人
①現在住宅に困っている人
②同居親族がいる人(婚約者可、60歳以上単身可)
③収入基準に合う人(収入のわかる書類が必要です)
④税金の未納がない人
▼申し込み 9月25日(火) / 10月2日(火)
▼受付時間 午前8時30分～午後5時15分(1日、2日は午後7時まで) ※優先入居により抽選がなくなる場合があります。内覧会を予定しています。
問 都市整備課建築住宅室
☎内線522・524

「スポーツの秋」を楽しもう

新庄いものマラソン参加者募集
▼とき 10月8日(月)午前9時
▼ところ 陸上競技場周辺
特設コース▼コースA(5キロ) 中学生以上、B(3キロ)、C(3キロウォーキング) ※どなたでも(小学生3年生以下は保護者と) ▼参加費 大人1、000円、高校生以下500円(幼児は無料)
▼申し込み 9月25日(火)まで
▼利用期間 11月～3月分
▼申し込み 9月21日(金)まで
▼使用施設 この調整会議体育館 10月3日(水)、武道館 10月4日(木)、市民球場 10月5日(金)の午後6時からいずれも体育館役員室で
問 生涯スポーツ課
☎22-0681

講座「新庄を学ぶ」 受講生募集

▼対象 成人(定員50人)
▼とき 9月30日(日)午前10時～正午
▼ところ 市民プラザ
▼内容 郷土の画家たち / その系譜を学び作品を鑑賞しよう
▼受講料 500円
問 市民プラザ ☎22-4200

第23回市民囲碁大会

▼クラス A 5段以上、B 2段～3段、C 初段以下、D 小・中・高校生
▼申し込み 9月16日(日)午前9時
▼受付開始 10時試合開始
▼ところ 市民プラザ
▼参加費 1、500円(昼食付)
▼申し込み 当日会場で
問 日本棋院新庄支部・渡辺
☎22-4815

市民プラザ利用者懇談会

○とき 10月1日(月)午後7時～8時
○ところ 市民プラザ小ホール
○内容 市民プラザ利用についての意見交換会、「第3回市民プラザまつり」について(主に市民プラザで活動している団体対象)
◎詳しくは、市民プラザへ。
☎22-4200

「自分でできる足裏マッサージ」 受講生募集

▼とき 10月14日(日)午前10時～11時30分
▼ところ 市民プラザ
▼内容 リラックス法を学ぼう
▼講師 佐藤千津子さん
▼受講料 500円
▼定員 先着30人
問 市民プラザ ☎22-4200

大人のためのビーズ教室

▼とき 9月27日(木)午後1時～3時
▼ところ わくわく新庄
▼内容 針と糸で編むビーズアクセサリー
▼材料代 3、500円
問 事務局・花井 ☎43-2279

初心者でも大丈夫! 「着付け基礎講座」

▼とき 9月13日(木)から20年

9月30日(日)は、 新庄市長選挙の投票日です

○投票日 9月30日(日)午前7時～午後8時
○ところ 市内各投票所
期日前投票
○期間 9月24日(月)～29日(土)
午前8時30分～午後8時
○ところ 市選挙管理委員会 事務室
○詳しくは、選挙管理委員会事務局へ。☎23-7543

新庄市表彰候補者の推薦

市は、市に在住または市出身の個人・団体で、政治・経済・文化・社会・その他各分野にわたり市勢進展に寄与し、特に功労のある方、または市民の模範となる方を条例に基づき表彰しています。該当すると思われる方を推薦してください。
○推薦期限 9月28日(金)
○推薦書類 表彰候補者推薦書
○詳しくは、総務課協働改革室へ。☎内線218

60歳までは国民年金に 加入しなければなりません!

国民年金保険料の未納期間があると、満額の老齢基礎年金が受けられないだけでなく、万一のときに、障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられない場合があります。長年、厚生年金などに加入してきた場合でも、60歳前に脱退した場合、国民年金に加入しなければなりません。脱退した人に扶養されていた配偶者も同じです。ご注意ください。
◎詳しくは、新庄社会保険事務所へ。
☎22-2050

STAFF! STAFF! STAFF! **スタッフ急募!!** STAFF! STAFF! STAFF!

- 営業事務 1名 25歳～30歳くらい迄 (販売兼務)
- 販売員 1名 25歳～45歳くらい迄

応募方法: 履歴書に写真を顔貼付の上、下記住所・担当者あてに郵送して下さい。
* 給与、交通費等詳細はお問い合わせ下さい *

MIYAGI 株式会社宮城 新庄市大町1-13 TEL22-3151
担当: 都市(トイチ)

大きい風呂で ゆったりリフレッシュ!!

腰痛、肩こりに岩盤うたたね癒 遠赤外線ゲルマニウム風呂

営業時間
平日 10:30～22:30
土、日、祝日 9:00～22:30
年中無休

みずの湯

新庄市五日町字清水川1284-35 TEL 0233-28-7426



「農大市場」

○9月20日(木)午前10時～11時30分
○農業大学校(大谷地)
◎県立農業大学校 ☎22-1527

9月のお・知

催しなど

「産直まゆの郷」5周年記念祭・お彼岸市

- とき 9月16日(日)～19日(水)
午前9時30分～午後6時
- 内容 新庄かかし祭り表彰式(16日午前10時～)旬野菜、お彼岸用花、農産物販売、焼きおにぎり屋台(16日のみ)、先着200人に記念品贈呈(16日のみ)
◎詳しくは、産直まゆの郷 ☎23-5007、農林課バイオマス推進室 ☎内線266へ。

もがみ子育て講演会

- ～まあせんせいがやってくる～
- とき 9月29日(土)午後1時30分～
- ところ 市民プラザ大ホール
- 講師 男性保育士 菊地政隆氏
※託児あり(事前申し込みが必要です)
◎入場無料です。詳しくは、オープンハウスこんべいとうへ。 ☎29-2301

「法の日記念日」無料法律相談

- とき 10月1日(月)午前10時～午後3時
- ところ 市民文化会館 和室
- 対応 県弁護士会新庄支部
— 行政相談所同時開設 —
- ところ 市民文化会館 第2練習室
- 対応 行政相談員
◎いずれも詳しくは、市民相談室へ。 ☎内線125

雇用・能力開発機構「支援制度説明会」

- 対象 事業主、総務、人事担当の方
- とき 10月4日(木)午後1時30分～午後3時30分
- ところ 新庄商工会議所
- 内容 助成金の活用説明、支援事業の紹介
◎詳しくは、商工会議所へ。 ☎22-6855

子育て支援セミナー「あそびうたワークショップ」

- 対象 子育てにかかわる大人(定員30人)
- とき 9月30日(日)午後2時～3時30分
- ところ パリス保育園
- 講師 たかはしあきらさん・平山ラーメンさん(あきらちゃん&ラーメンちゃん)
- 申し込み 9月22日(土)まで
◎詳しくは、パリス子ども文化研究所へ。 ☎23-7880

問 福祉事務所高齢障害支援室
☎内線548

▼対象 肢体と聴覚に障がいがある人
▼とき 10月3日(水)午後1時30分～3時(受付は2時30分まで)
▼ところ 保健センター
▼内容 補装具の無料相談、身体障害者手帳の交付相談
▼持ち物 身体障害者手帳、補装具、印鑑

身体障害者巡回相談

問 民族衣装文化普及協会・小座間
☎090-3755-6252

6月までの毎週木曜日午後6時30分～8時30分
▼ところ わくわく新庄ほか
▼内容 きもの着付けの基礎、着付け資格取得も可能です
▼受講料 月4、7000円
▼申し込み 事前に電話で

10月から「やまがた子育て応援パスポート」がスタートします

県内の協賛店で提示するとサービスを受けられるパスポートカードを交付します。

▼対象 妊婦または未就学児のいる世帯 ▼交付場所 市福祉事務所(一部保育所・幼稚園を通して交付)
▼有効期限 平成22年3月31日まで(小学校に入学する場合はその年の3月末日)
▼協賛店 県ホームページ内子育て応援パスポートおよび携帯サイトをご覧ください

問 福祉事務所児童支援室
☎内線545

TOTO石油給湯機点検のお願い

95年8月から99年6月に製造したTOTO社製石油直圧式給湯機の部品の一部不具合

「架空請求」に注意ください

はがき、封書、Eメールなどで届いた身に覚えのない「架空請求」に関する相談が多く寄せられています。なかには「民事訴訟通告書」を架空の法律事務所名で送りつけてくる場合もあり

問 給湯機点検コールセンター
☎0120-444-309

により、油漏れによる発火・延焼の恐れがあります。
▼対象製品 本体前面に貼られたシールに「Hi-ACTY」と記載されたもので、型式が【RPE32K〇〇/RPE40K〇〇/RPE41K〇〇/RPH32K〇〇/RPH40K〇〇/RPH41K〇〇】のいずれかの製品
※対象製品をお使いの方は、無料で点検・部品交換しますので、至急ご連絡ください。

特別弔慰金の請求はお済みですか

問 市民課市民相談室
☎内線125

▼対象 戦没者の死亡当時の遺族で、平成17年4月1日において公務扶助料、遺族年金などを受ける人がいない場合の先順位の遺族
▼給付内容 40万円、10年償還の記名国債 ▼請求先 福祉事務所生活支援室
▼請求期限 20年3月31日
※請求期限を過ぎると法律により特別弔慰金を受ける権利がなくなります。

問 福祉事務所生活支援室
☎内線542



秋彼岸・行楽用品は郷野目ストアで...

秋彼岸用品大特集

芋煮材料、各種取り揃えております。各店にて予約承り中!!

「大人がはぐくむ子どももの心」

市が平成十七年度に策定した「いのち輝く新庄 もみの木教育プラン21」の具現化は、学校教育だけで目指すものではありません。家庭、地域、学校において、人づくりを支える大人の役割が強く求められています。

「読み聞かせボランティアの活躍」Ⅲ

今回は、本合海小学校読み聞かせボランティア「こやぎの会」を紹介します。

「こやぎの会」は、佐藤校長先生の呼びかけで子どもたちの保護者が集まり二年前から活動をはじめました。グループ名の由来は、小学校の庭にある樹齢百年の柳の大木です。風に揺れる柳の葉の音が「メエー、メエー」と鳴く子ヤギの鳴き声にも似ていることから、雨にも風にも負けない大樹のように育ってほしいという願いをこめて「こやぎの会」になったそうです。

会員数は現在十名で、毎週水曜日の朝に六人のお母さんが全クラスで読み聞かせを行っています。時間は八時二十五分から四十五分までの二十分間。その間、二〜三冊の絵本を読み聞かせます。

読み終わった後は、校長室で校長先生が入れてくれたコーヒーをごちそうになりながら、読んだ絵本を記録したり、学校の様子や子どもたちの様子をみんなで話し合

います。校長先生と直接話し合えるこの時間が魅力と言つメンバーもいます。

校長室のドアはいつも開いていて、廊下を通る先生や子どもたちが「おはようございます」と必ずあいさつしてくれます。「学校のありのままを保護者にみせる」という校長先生の人柄が楽しい読み聞かせにつながっています。

読み聞かせに使用する絵本は、市立図書館から借りたものや、学校の廊下に並んでいる校長先生の本の中から選んでいます。長い話は高学年に、短い話は低学年に読み聞かせています。また、年に四回ほど子どもたち全員を食堂に集めて大型紙芝居の読み聞かせをしています。この日は、「王様と九人の兄弟」と「じゅげむ」を読み聞かせました。全員が目を輝かせながら聞き入りました。

読み聞かせの心構えは「聞かせてあげるといつ気持ちはなく、一緒に絵本を楽しむ気持ちは大事」



▲食堂での大型紙芝居の読み聞かせ

とのこと、「絵本を読んで、子どもが喜んでくれるのがうれしい」「子どもの成長を見られるのが楽しい」「きちんと話を聞けなかった子が、一年もたつときちゃんと聞けるようになる」などの感想が聞かれました。また、「もつと読んで」と言われたときや、まちで「こんにちは、〇〇先生」とあいさつされたときなどが特にうれしいそうです。

読み聞かせを続けるうちに、本好きの子が増えたようです。楽しい気持ちで一日を始められるよう重苦しい話や悲しい話はなるべくしないとのことでした。

自分子どもが卒業しても続けたいと元氣いっぱいのみなさんでした。

(市立図書館)

郷土の歴史

ひとくち

新庄市史

⑥ 平安時代の新庄

〜村山郡の誕生

和銅五年(七一二)、越後国出羽郡(現在の東田川郡)を出羽国とし、ここに陸奥国から最上(現在の村山・最上郡を合わせた範囲)・置賜の二郡を割き、従属させ、現在の山形県の原型ができたことは前に述べた。

この最上郡が、仁和二年(八八六)に二分され、最上郡と村山郡となった。ただし、この二郡は現在とほぼ逆で、最上郡は現在の村山地方、村山郡は現在の最上地方と北村山郡北部を含む範囲であった。

新庄が属する村山郡には、大山・長岡・村山・大倉・梁田・徳有の六つの郷があったとされるが、それぞれが現在のどの地域に当たるかは、未だ判明していない。一説に、梁田郷が新庄周辺に当たるのではないかというが、定かではない。いずれにしても、平安時代前期の人々は、律令制度の政治制度の下、国司や郡司の支配に従い、口分田を耕し、種々の租税や労役に従

～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『沈底魚』

曾根 圭介 著

眠れるスパイ「沈底魚」が動き出した。正体は大物政治家か、それとも某国の偽装工作か…。真相究明に暗闘する公安刑事たちの姿をリアルに描いた、本格公安ミステリー！[江戸川乱歩賞(第53回)]



● 今月のテーマ展示 ●

「果物」

果物はおやつや贈り物としてだけでなく、ビタミンや食物繊維を含む健康食品としての役割も果たしています。今月は果物をテーマに展示します。

新着図書

- ◆ 幻香……………内田 康夫
- ◆ 捨てる神より拾う鬼……………佐藤 雅美
- ◆ 反転 闇社会の守護神と呼ばれて……………田中 森一
- ◆ 女ですもの……………内田 春菊・よしもとばなな
- ◆ 晩夏のプレイボール……………あさの あつこ
- ◆ 青い鳥……………重松 清
- ◆ 人は思い出にのみ嫉妬する……………辻 仁成
- ◆ 疫病神も神のうち……………赤川 次郎
- ◆ アサツテの人……………諏訪 哲史
- ◆ 絆 一山田浅右衛門斬日譚……………鳥羽 亮
- ◆ 「綺麗な人」と言われるようになったのは四十歳を過ぎてからでした……………林 真理子
- ◆ お茶漬けライフ……………荻原 悦子
- ◆ 毎日があさん4 一 出戻り編……………西原 理恵子
- ◆ プライドと情熱 ライス国務長官物語……………アントニア・フェリックス
- ◆ パラシュート……………山田 悠介
- ◆ 反面教師……………清水 直
- ◆ だっこして……………エクトル・シエラ
- ◆ しんかんくうちにくる……………のぶみ
- ◆ デモナータ5幕 一 血の呪い……………ダレン・シャン
- ◆ へんしんとびばこ……………あきやま ただし
- ◆ 魔女のパン……………オー・ヘンリー
- ◆ 虹の橋……………葉 祥明
- ◆ ダヤンと夢の約束……………池田 あきこ
- ◆ ばあちゃんのさんぴら……………大原 由佳
- ◆ 天狗……………たかし よいち
- ◆ ぶす……………内田 麟太郎

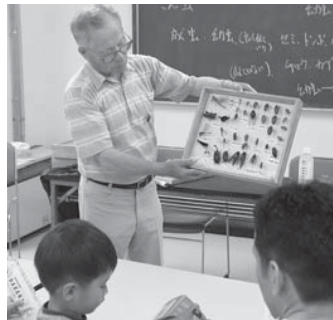
- 開館時間 午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日
- ◎ 市立図書館 ☎22-2189

蔵書検索



夏休みの思い出できました!

～夏休みグラウンドワークセミナーちびっこ寺子屋～



▲大類さんによるおもしろ昆虫学習会

八月四日、夏休みグラウンドワークセミナー「ちびっこ寺子屋」がエコージョーガーデン「原蚕の杜」で開催されました。
このセミナーには、新庄・最上地域の子どもたちと保護者約二十五人が参加して「おもしろ昆虫学習会とセミの幼虫さがし」をテーマに体験学習が行われました。



▲園内での虫さがし

学習会では、参加した子どもたちが、講師の大類貞夫さんの昆虫に関する興味深い話を真剣に聞き入り、その後、セミの幼虫が羽化する様子を各家庭で観察するために土の中の幼虫を捕まえたり、セミの脱け殻をとったりして、自然の中で体験学習を楽しみました。
このセミナーを主催した「グラ



▲みんなで記念写真

ウンドワーク新庄ではこのような子どもたちへの自然体験のほか、「お花見ロードマップ」の作成や「山野草展」の開催、自然・環境をテーマにしたワークショップを開催するなど地域の環境改善や魅力ある地域づくりのために活動しています。

い、苦労しながら生活したと思われる。
平安時代後期になると、律令制のもと土地制度が崩れ、貴族・寺社の私地・私民が増大するようになる。現在の山形県でも、多くがそうした皇室・摂関家につながる荘園となったが、最上地方にはその形跡がなく、従来のままの公領であったと考えられている。しかし、公領と言っても当初とは全く違い、国司や郡司の私有地状態であったと思われ、郡の役人の私的な労役に苦しめられ、人々の暮らしは依然楽ではなかったと推察される。
なお、最上郡と村山郡が逆(現在の形になるのは、江戸時代の初めごろと考えられている)。

かつろく思い出の四季

雀落とし



木陰にかくれ、息を殺している男の子。「何してんなや」というと、片手を横に振って、口に指を当てる。「なるほど、雀落としをかけてるんだな」と、納得する。

ふご(ざる)の、少し大きめのものを斜めにして、Y字型の細い木で支える。細木に結んだ糸は、木陰の男の子まで伸びている。ふごの下には、米つぶをばらまいて待っているのだ。

二、三羽の雀が、屋根からおりてきた。ばらまいた米つぶを、口ばしでつついているが、ふごの真下にはなかなか入らない。「やっぱり、危険を感じているのかな」と思い、はやる気を抑えて待つことしばし。二羽の雀が、ちょうどふごの真下に入った。よしよしと糸を引く。一羽にげられたが、一羽はたしかにふごの中にいるはずだ。そのままふごに手を突っ込めば、にげられる。さあ、どうしてつかまえるか考えどころだ。さつことりの網を上からかぶせ、まずふごをとる。いたいた、さあつかまえるぞ。

絵 三條正美、文 笹喜四郎(昭和六十一年新庄市発行)

見・所・探・訪

仁田山の地藏様

仁田山地区のほぼ中央に地藏堂が建っている。神ではないが、実質的にこの地区の氏神のような存在であり、8月15日の地区のお祭りでは鹿子踊も奉納される。お堂に鎮座している御地藏様は、高さ70センチほどの木像で、顔は白く化粧し、あでやかな極彩色の着物を着た美しい少女の姿である。昔、一人娘を亡くした新庄の殿様が悲嘆の底にあったとき、この御地藏様を拜し、まるで亡くなった娘と再会した思いがしたとして、その後もしばしばこの御地藏様を参拝して心をなくさめたとされている。



表紙の写真

新庄人の心意気 ～新庄まつり～

好天に恵まれ絶好のおまつり日和の中で開催された日本一の山車パレード・新庄まつり。神輿渡御行列に絢爛豪華な山車が続き、勇壮なまつり囃子が盛り上げます。街中は山車・囃子・引き手・観衆が一体となって年に一度の歴史絵巻に酔いしれました。



7 月末現在の新庄人

40,142人(40,582人)

女 20,921人(21,104人)

男 19,221人(19,478人)

世帯数 13,485世帯(13,458世帯)

7月の異動

出生 32人(33人)

死亡 29人(26人)

転入 68人(67人)

転出 108人(88人)

※()は1年前の住民基本台帳